

English for you

兒童英檢
問題集

BRONZE

SILVER

GOLD

山上登美子編著

成美堂出版



この本をお使いになる読者の皆様へ

従来は中学校から英語学習を始める地域が多く、児童の英語学習は塾や英会話学校で行われていたようです。最近では総合学習の時間を外国事情やコミュニケーションを目的とする英語学習に充てることができるようになったため、英語学習を授業に取り入れる小学校が出始めています。2002年7月には「英語が使える日本人育成のための戦略構想」が文部科学省から発表され、そのためのフォーラムが2003年3月に東京で開催され、多くの人々の注目を集めました。中学、高校、大学の英語教育に関する実践紹介や講演だけでなく、小学校の英語教育における工夫についても報告がありました。インターネットの普及により、子どもたちが国際的共通語としての英語コミュニケーション能力を身につけることが不可欠だという認識のもとに、平成20年度をめざした英語教育の改善目標や方向性を具体化する方針が打ち出されました。そして、小学校英会話活動推進のための手引きの作成や今後の小学校英語教育のあり方に関する研究も予定されています。

早期外国語教育の利点は誰もが持っている言葉の自然能力を生かし、楽しく習得できることにあります。言い間違いなどを恐れぬこの時期を大切に、基礎的な英語に接すれば、外国語に対する抵抗感がなくなり、英語を聞いたり、話したりできる力を効果的に習得できるでしょう。

児童期の英語学習の目標には、次のような点があげられます。

- (1) 英語に対する興味を持つきっかけを作る。
- (2) 積極的に英語でコミュニケーションをしてみようという気持ちを養う。
- (3) 英語で世界の人々と交流することの楽しさを知らせる。
- (4) 海外の文化や生活に対する理解を深める。
- (5) 異なる環境を知って、視野を広める。

児童英検は、英語学習の入門期に最も大切なりスニング力の評価を重視し、英語コミュニケーション能力の測定を目的としています。テスト方法は英語を聞き、その内容にあった答えをカラーのイラストや音声による選択肢の中から選ぶ形式が中心になっています。評価方法は児童の達成感を学習の動機付けにする育成型テストなので、可否をつけないことが従来の英検との大きな違いです。正解数と正答率が示され、次のステップに進めるかどうかわかります。初めての受験生および半年から1年以上の学習経験のある児童はブロンズから始め、正答率が高くなれば、シルバー、ゴールドとステップを上げていきましょう。

まず、この本で学習内容を理解し、自信がついたら児童英検を受けてみましょう。毎日の習慣や家族との交流など身近な話題が取り上げられているので、基礎的な英語力が自然に身につくでしょう。本書が読者の皆様の英語力養成に役立つことをお祈りしています。

もくじ

- 1— はしがき
- 3— この本の構成と使い方
- 4— 児童英検ガイド

「英語での表し方」

- 6— Lesson 1 英語のアルファベット
- 8— Lesson 2 英語の数字の呼び方
- 10— Lesson 3 いろいろなあいさつ①
- 12— Lesson 4 いろいろなあいさつ②
- 14— Lesson 5 自己紹介
- 16— Lesson 6 家族のことを話してみよう
- 18— Lesson 7 数を聞いてみよう
- 20— Lesson 8 時間や曜日や予定をたずねる
- 22— Lesson 9 道や場所や天気をたずねる
- 24— Lesson 10 「私は～です」「あなたは～です」などの言い方
- 26— Lesson 11 これは「それは」～です
- 28— Lesson 12 時間・天候は～です/～があります
- 30— Lesson 13 「～してもいいですか」などの聞き方
- 32— Lesson 14 「～しますか」「～していただけますか」の聞き方
- 34— Lesson 15 「いつ」「どこで」などの聞き方
- 36— Lesson 16 いろいろな動詞を使って表現してみよう①
- 38— Lesson 17 いろいろな動詞を使って表現してみよう②
- 40— Lesson 18 いろいろな動詞の意味①
- 42— Lesson 19 いろいろな動詞の意味②
- 44— Lesson 20 覚えておきたい暮らしの中の英語①
- 46— Lesson 21 覚えておきたい暮らしの中の英語②
- 48— Lesson 22 いろいろなもののお名前①
季節・月・曜日の呼び方/「年・月・日・朝・昼」の呼び方/「形・方角」の呼び方/「からだ」の呼び方
- 49— Lesson 23 いろいろなもののお名前②
「食べ物」の呼び方/「動物」の呼び方/「鳥・昆虫」の呼び方/「自然」の呼び方
- 50— Lesson 24 いろいろなもののお名前③
「家の外・町」の呼び方/「乗り物」の呼び方/「楽器」の呼び方/「文房具」の呼び方



「児童英検模擬問題 BRONZE・SILVER・GOLD」

- 52— 児童英検模擬問題 **BRONZE**
- 62— 解答・解説
- 64— 児童英検模擬問題 **SILVER**
- 77— 解答・解説
- 80— 児童英検模擬問題 **GOLD**
- 93— 解答・解説

この本の構成と使い方

◆本書の構成

「児童英検」は音声のみの試験ですが、日常的に使われるあいさつや、かんたんな英語での会話のやり取りが出題されます。そこで、本書では全体を2部構成にし、第1部で、日常よく使われる決まり文句や英語の表現の形を紹介し、第2部で「児童英検模擬問題」を掲載いたしました。

1 Lesson 1からLesson 9：決まり文句の学習

ここではGood morning, Dad.「お父さん、おはよう」やHow do you do?「はじめまして」などの、あいさつや決まり文句を中心に紹介しています。Please give me the paper.「新聞をとってくれないか」—Here you are.「さあ、どうぞ」のように質問や依頼に対する応答が決まっている場合の言い方も紹介しました。

2 Lesson 10からLesson 21：英語の形を覚える

ここではI am a pupil.「私は生徒です」 You're good friends.「君たちは仲良しなんだね」 This is my ball.「これは私のボールです」のように、英語で表現する場合に使われる英語の基本的な形を紹介しています。こうした表現の形を数多く知っていると、聞き取りが容易になるだけでなく、話す際の助けになります。

3 Lesson 22からLesson 24：物の名前を覚える

英語に限らず、言葉を理解するには、物の名前を数多く知っているとより容易になります。ここでは、曜日や体の部位の名称、食べ物や動物の名前など、子供たちがふだん使っているものの名前に限って紹介いたしました。

4 英会話BOX

英語表現を学ぶ上で注意したい点を紹介しました。このコーナーは主として、ご父兄の皆様向けに設けたコーナーです。ここで紹介していることを、お子様に英文を読んで聞かせる際の参考にしてください。

「児童英検模擬問題 BRONZE・SILVER・GOLD」

本書には、「児童英検」の模擬問題がBRONZE、SILVER、GOLD各1セットずつ収められています。問題の形式は児童英検に完全に準じています。

問題を解く場合は、付録のCDを使って解いてください。BRONZE、SILVER、GOLDとも、試験の進め方や解答の仕方はCDに収められており、解答用紙には問題指示文などはありません。この点ご注意ください。なお、本書では、各問題の解答の仕方の説明（問題指示文）を「児童英検の概要」（p.4-5）で紹介してあります。

児童英検ガイド

【児童英検 BRONZE】

◆問題数と時間

●小問数(大問数):40問(7問) ●テスト時間:約30分

◆問題の種類と内容

問題は大問ごとにテーマが設けられています。問題の種類と、内容は下記のとおりです。
(問題指示文はイラストの内容により若干変更されることがあります。)

①「絵にあう文は？」全8問

3つの文を読み、イラストにあっていと思う文を1つ選びましょう。3つの文は1回ずつしか読みません。

②「Yesか？ Noか？」全5問

はじめにイラストの場面や状況にあった質問が流れます。続いてYesかNoで始まる3つの返事が流れますので、イラストにあった返事を1つ選びましょう。質問と返事は1回ずつしか読みません。

③「3ヒントクイズ」全4問

イラストのうちのだれかが自分について3つのヒントを言いますので、だれが話しているのかをあてましょう。ヒントは2回ずつくり返します。

④「文にあう絵は？」全8問(4問×2組)

文を聞いて、内容にあっていると思うイラストを1つ選びましょう。問題は4問で1つのお話になっていて、文は2回ずつくり返します。

⑤「お話にあう絵は？」全6問(3問×2組)

2人の会話を聞いて、その内容にあっていると思うイラストを1つ選びましょう。会話は2回ずつくり返します。

⑥「みんなにきいてみよう」全4問

4人の子どもたちに質問をしますから、その返事を聞いて、返事の内容にあてはまるイラストをわくの中からすべて選びましょう。会話は2回ずつくり返します。

⑦「どうすればいいかな？」全5問

先生が子どもたちに話しかけますから、その内容にあっていると思うイラストを1つ選びましょう。会話は2回ずつくり返します。

★「チャレンジコーナー」全4問

「チャレンジコーナー」は得点に関係なく、自由に答える形式の設問です。

【児童英検 SILVER】

◆問題数と時間

●小問数(大問数):45問(9問) ●テスト時間:約35分

◆問題の種類と内容

①「絵にあう文は？」全8問

3つの文を読み、イラストにあっていと思う文を1つ選びましょう。3つの文は1回ずつしか読みません。

②「返事をしよう」全4問

これから鳥があなたに話しかけますから、そのあとの2つの返事を聞いて、正しく答えているほうを選びましょう。話しかけと返事は1回ずつしか読みません。

③「種類別ものえらび」全3問

4つのものの名前を聞いて、そのもののイラストがあったら解答欄にまるをつけましょう。ものの名前は1回ずつしか読みません。ただし、読みあげた名前のものがないときもあります。

④「3ヒントクイズ」全4問

イラストの中のだれかが自分について3つのヒントを言いますので、だれが話しているのかをあてましょう。ヒントは2回ずつくり返します。

⑤「はじめはどの文字？」全4問

もの名前を3つ読みあげます。それらのことばはすべて同じアルファベットの文字で始まります。正しいと思う文字をえらびましょう。もの名前は1回ずつしか読みません。

⑥「どっちの絵？クイズ」全8問(4問×2組)

1組のイラストについて文を読みます。それぞれの文が、1と2のどちらのイラストについて言っているのかをえらびましょう。文は2回ずつくり返します。

⑦「お話にあう絵は？」全6問

2人の会話を聞いて、その内容にあっていると思うイラストを1つえらびましょう。問題は6問で1つのお話になっていて、会話は2回ずつくり返します。

⑧「2人にきいてみよう」全4問

2人の子どもに、お母さんが質問をします。それぞれの答えを聞いて、その内容にあっているイラストをすべてえらびましょう。会話は2回ずつくり返します。

⑨「文字をえらぼう」全4問

大きな絵の中に6つのもの名前の名前が書いてあるイラストがあります。この中から4つ読みあげますので、それとあっていると思うものを1つずつえらびましょう。もの名前は2回ずつくり返します。

★「チャレンジコーナー」全4問

【児童英検 GOLD】

◆問題数と時間

●小問数(大問数)：50問(9問) ●テスト時間：約40分

◆問題の種類と内容

問題は大問ごとにテーマが設けられています。問題の種類と、内容は下記のとおりです。

①「絵にあう文は？」全8問

3つの文を読み、イラストにあっていると思う文を1つえらびましょう。3つの文は1回ずつしか読みません。

②「ちがうものはどれ？」全6問

ことばを4つずつ読みあげます。その中で1つだけちがう仲間ものが入っていますからその番号をえらびましょう。ことばは通して2回くり返します。

③「返事をしよう」全6問

お母さんが子どもに話しかけます。そのあとに2つの返事が流れますから、正しく答えているほうをえらびましょう。話しかけと返事は2回くり返します。

④「お話を聞こう」全5問

5つのお話を読みますので、それぞれの内容にあっているイラストを1つずつえらびましょう。ただし、どのお話にもあてはまらないイラストが1つだけあります。文は1回ずつしか読みません。

⑤「文字にあう絵は？」全6問

日本地図と、特産物が詰められた箱が並んでいます。〈チャイム〉を聞いたら、箱に書いてあることばを読んで、日本地図の中からその特産物の絵をえらびましょう。〈チャイム〉は1回しか鳴りません。

⑥「絵を見て答えよう」全8問

1枚の大きなイラストについて質問をします。そのあとに2つの答えが流れますから、その質問に対する答えとして正しいと思うものをえらびましょう。質問と答えは2回くり返します。

⑦「どんなお話？」全3問

2人の人が話をします。その話の内容について、3つの文を読みますから、2人の話にあっていると思う文を1つえらびましょう。2人の会話と3つの文は2回くり返します。

⑧「質問してみよう」全4問

イラストの人たちの話を聞いて、その中からあっていると思う質問文を1つえらびましょう。質問文は2回くり返します。

⑨「4コマまんが」全4問(2問×2組)

次の4コマまんがで、1コマ目から順にセリフを読みあげます。2コマ目と4コマ目で抜けているところの正しいセリフをえらびましょう。まんがのセリフは2回くり返し読みます。

★「チャレンジコーナー」全5問

「チャレンジコーナー」は得点に関係なく、自由に答える形式の設問です。